

# えがおかがやく

令和7年度  
南越前町立河野小学校  
学校だより

第49号 令和7年12月19日

## なかよしフェスティバル (1・2年生)

12/12(金)に、1・2年生が、河野保育園の年長児を招いて、「なかよしフェスティバル」を行いました。これまで、1・2年生は、保育園の子を楽しませようと、遊びのコーナーの計画を立て、遊びに使うものを作ったり説明のシナリオを考えて練習したりしてきました。準備万端で迎えた当日。温かく保育園の子を迎え入れ、優しく声かけをするなどして、楽しい雰囲気でお互いにうれくなる「なかよしフェスティバル」にすることができました。

かみコップ花火をたくさんつくってよかったとおもいました。みんながたのしくしてくれたからです。

ほいくえんのえんちょう先生がほめてくれたし、おみせがにきでなんどもきてくれたのがうれしかったです。

じゅんびをしていたときに、ほんばんまでにまにあうかなと思ってしんぱいしていたけれど、まにあってよかったです。らいおん組さんは、1年生になったら、またらいおん組の子にするんだなと思ってくれたかなと思いました。

ぼくのたんとうは、らいおん組さんにおしえることです。こつは、つよく回して足を前にだすことです。竹とんぼをもってかえるくらいおしんてくれてうれしかったです。



## デイサービス訪問 (5・6年生)

12/16(火)に、5・6年生が、河野デイサービスセンターを訪問しました。施設見学や説明を通して、デイサービスの役割や高齢者の生活への理解を深めました。足湯ケア体験では、足湯の世話や言葉かけにより、温かい交流をすることができました。最後にしたかるた遊びでは、自然な笑顔で接し、世代を超えて触れ合う喜びを感じていました。



・足湯ケア体験をして、高齢者の人が最初より笑顔になったのでよかったと思いました。これから、大きな声で聞こえるように話したり笑顔になってくれることをしたりしようと思いました。

・今日、高齢者の人は足湯をするだけでもリラックスできることを初めて知りました。気持ちいいと言ってくれたのでうれしかったです。

・また、交流してみたいと思いました。なぜなら、相手の気持ちをみることは難しいけれど、喜んでもらえると思うとうれしかったからです。

・足湯体験をして、デイサービスで働いている人はすごいなと思いました。声かけはとても難しいと分かりました。

・お風呂に入ることがあまりなくても、足だけつかるのでも効果があるのがすごいと思いました。高齢者の人たちといっしょに楽しむことができるのは、よいと思いました。

